

火の用心

今日も安心

田沢中二ノ一 桑原セツ

外はしとくと雨がふつて... 「お母さんもうねようか」私は母にいつた...

いま、顔を上げなかつた母はやつと顔を上げた。そして「今日も子供達はや...

も何回もみてまわることにしている。遠くから子供達の聲が...

幼児と小児に

角膜炎と結膜乾燥症 多い眼の病氣

不完全な人工栄養をやつていたり、病氣で栄養がとれなかつたりすると、赤ん坊の眼がはじめは赤くなり...

俳句

運動會農道利用して走るか 秋雨や煙りたちおる炭やき 白露にぬれて落栗光つてる...

時、母は顔をあげた「ねんにはねんを入れよと云うことがあるからもう一度見て...

た。母はせつせとかたすけをばじめ、それがおわつてまわりを見なおして二人で...

と、それが牛眼という恐ろしい名の眼病であることがありませう。

巡査異動 昭和二十八年九月以来田澤地区の巡査として村民が...

文化の日行事

国では割合多く、全国盲学校生徒の失明原因を調べたところ、ビタミンAなどの...

中里村の概要

十月一日現在 面積 二二八、二五平方料 人口 九、九六〇 戸数 一、五七一 耕地面積 (田)五、九六七反...

こんな勘定になる

Table with 4 columns: 全国, 新潟県, 全国, 新潟県. Rows include birth, death, marriage, divorce, infant mortality.



所民館 印刷所 中里村 十日

新中里村の發足に當つて

村長 渡邊 利三



渡邊村長

新中里村としての計畫については、従來の五ヶ年計畫に更に貝野村よりの希望...

中里村へ合併するに際して

堀ノ内 南 雲 茂 雄

發電事業、河川改修と段丘地の開墾による農地の造成 一、上信越高原國立公園の整備...

町村合併促進法が施行されてから丸三年、最後に取残された中部の合併も、幕...

これらの諸問題が徹底且つ能率的に行われなければ、合併の第一目標たる住民の福祉の増進は望むべくもなく、...

如實に物語るものであり、利己的个人感情や、卑屈な島国根性が大局を觀る眼を...

中里村は昭和三十年三月三十一日附で倉俣村、田澤村の二村が暫定合併と云う形式で合併したことは周知...

何と申しましても吾々農村では、第一に農村の振興策を樹立し、土地改良の實...

町村合併促進法が施行されてから丸三年、最後に取残された中部の合併も、幕...

行政機構の簡素化、財政面の合理化、学校、公民館、消防施設等の適正化、これ...

此の様な観点からみれば、中部の大同合併の實現をみし、新中里村の發展を期すべく努力したい。

とにか中里村とに一年有余の空白がある譯であり、一日も早くこの空白を取戻し、新中里村の發展を期すべく努力したい。

教育委員決る

委員長に高橋幸作氏
教育長に阿部英一氏



高橋委員長

教育委員会法の改正により教育委員は公選制から任命制となったことは周知の通りである。

本村教育委員会の委員は村長推せん通り議会の同意を得、十月一日發令を以て任命されたので、同日初回の委員会を召集、委員長、同職務代理者の決定、教育長の選任を行ひ、教育長に就いてはたゞちに縣教育委員会の承認を求め、十月六日付承認されたので一日にさ

かのぼり發令した。

職名	氏名	年令	任期
委員長	高橋幸作	四七	四
委員	山田定信	四八	一
委員	阿部英一	六二	三
委員	桑原秀雄	三六	二
委員	村山軍英	五三	四
職務代理者	村山軍英	五三	四

「教育は何ものにも優先するものであると云う信念のもとに處す」という一語につきるが、今次法律改正により内容は非常



阿部委員長

に複雑になった。

現在村の教育施設その他に多くの問題が山積しているが、村當局の御理解と、村民のみなさんの御協力のもとに、全委員一丸となつてこれが解決と向上進展に努力してゆきたい。

教育長 阿部英一氏の話

村議会議長など改選

議長に廣田重政氏

九月三十日付貝野村の編入合併と共に、その地域出身の議會議員十一名が中里村の議會議員となつたので、議長、副議長、常任委員及び常任委員長の改選を行ひ左記の通り決定した。

議長 廣田 重政
副議長 高橋 門吉
常任委員 廣田 重政
常任委員長 高橋 門吉
總務文書 廣田 重政

○高橋源平△井ノ川三平
藤田宇一、阿部友重、南雲吉之助、山田金松、山本茂一樋口喜藏。

財政建設

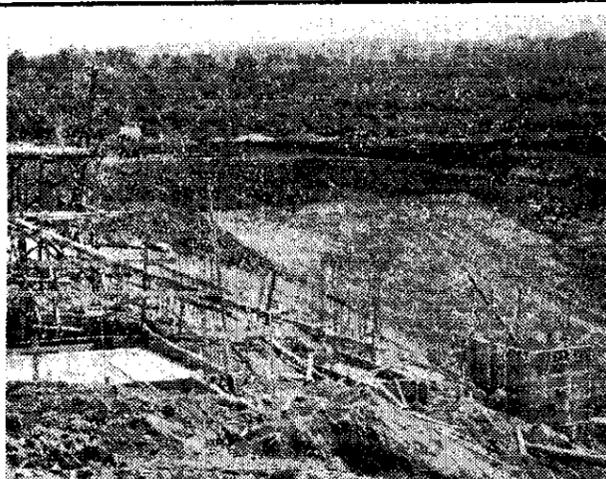
今の一匹は夏の百匹

ハエ退治絶好の時期です

今まではハエや蚊の動きがにぶく、退治するのに絶好の時機、特にハエは卵を抱いて越冬するので、いま一匹退治するのは夏の百匹に相当するといわれています。住みよい村づくりの爲に、大掃蕪をやると共に、この機会に徹底的に退治しましょう。

小滝溜池工事視察記

井ノ川 三平



(写真は小滝溜池建設工事現場)

九月二十三日午後中里村にて、農林省金澤農地事務所、農水省南開拓建設事務所、所管施工の小滝溜池工事の視察を行つた。

九月二十三日午後中里村にて、農林省金澤農地事務所、農水省南開拓建設事務所、所管施工の小滝溜池工事の視察を行つた。

国道を水澤カネヤマ前で水澤農道を東方高台地に上り、馬水開拓幹道に出て中里に六米の道路を廣漠たる高原、東南方富岡山方向に車を馳せた。

第一番に感じたのは斯様の道路を開拓の爲に開墾した土地が粘土盤個所多し、自動車の通り頻繁なので路面が泥濘化して車の操縦は容易ない、せめて掻込砂利でも入れて補修を願われたいものかとつぶやき乍ら、走行約四分(八軒位)で目的地小滝第一号溜池工事現場に到着した。

現場に到着した。途端に轟々たるエンジン音が響き、機動音が山にこだまして、ブルドーザーの操業である。

偶々事業所市川工務課長が公休日にもかかわらず御出下され、又工事施工主任の幾久建設K.K.の鈴木さんも相次いで御出になり、吾々の爲に新に規模、操業の状況等を御目にかかれたいと五、六台のブルドーザーの

作業を見せてくれ、次の様な説明をしてくれた。

市川さんは「この溜池の所要面積約二万四千平方メートル、貯水面積約一万一千平方メートル、貯水容量四万九千九百立方メートル、貯水延長二百四十米、その他設計内容の詳細に迄互に、工費は概算二千八百万円という設計に基づき、充分施工には萬全を期し完全なものに造つて、農地開發の爲に役立たせたいとのことだつた。

又鈴木さんは「昨日雨天であつたので堤塘用土運びの填壓は本意でなかつたが今朝来晴天になり湿度も少くなつたので、わざ／＼あな方が視察に来られると、たが作業を始めていたのだ、御覧の通り一台のブルドーザーが六粒乃至九粒の土をキヤクキと容れ運び併せ填壓をやりこの程度の巨離で一時間五、六回位、堤とう土は監督の指示に基づき厳選填壓を入念にやります。

機械には一台に運転士が二、三人居れば間に合います。朝は未明に作業にかゝり運轉は時限交替でやります。夕方照明設備が不備なので、日暮前に作業をやめ機械の整備を

準備をくりかかし、翌日に備えしやつて居ります。

現場は地形や土質が條件がよいので相當率は出ます。先ず大凡五百五十人位分をブルドーザーでやつているわけだ。

開墾開田には條件が伴はずね。

御希望の節は何時でも御相談に應じます。現に津南開拓では相當これを使つて開田も數十町歩出来ました。向これからもやる契約がしてあります。など一寸商賣の味に得意説明も承はつた。

次に直ぐ近く(約三〇〇米東北底地)に小滝第三号池があり、これは大田工事完成に近く、石張や堤とう仕上げをやればよいとの事。工事規模も大体一号池と同程度であつた。

小滝二号池がその間にあつたが、之は既に出来てあり、小規模であつた。

又方向を少し離れて珠田溜池の容姿をうかがわんと寄り足した。

貯水量約十七万粒、満々陸々と水を湛いてあつた。之等施設費總額約八千万円の金額を投じてあるとの事。これが同業とも云い、農林省當局事業とも申せ即郷土

任民の農業開發の充實を謀る一環元であり、施策である事を思い、この施設を大いに利用し得る様受入態勢を整い、清津川總合開發に依りよ以上の効果も相俟つて、その恩恵は郷土農家の方々を通じて、一般住民の福利増進百年大計の基礎をなすものである事を痛感し、同會に現在この事業にはおられなかつた。

一行の視察は赤々とした夕日を受けながら有意義に終り再び御好意に甘えてジープの入となり歸省した。

印鑑をお忘れなく

ハンコ行政だノメンドクサイ事ばかりノとよく言われることだが、今の制度下にはまだまだそのメンドクサを止める譯には行かないのです。

金や品物の收受はつきりさせて置く事と、後日にイザヤの起らないために、お互そのメンドクサを繰返して居るのです。

役場へお出でになる時は必ず印鑑を持参することを習慣としたいのです。

使わずに歸つても大して荷物にもならず、損をする事にもならないもの。